

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 文化会館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 文化会館の利用許可及び市内施設の受付業務に関すること。 (3) 市民の文化、芸術及び教養の向上並びに福祉の増進を図るために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度1～3月実績)÷(R3年度1～3月実績) 大ホール:42.4%(平均値比 131.0%=42.4%÷32.3%) 小ホール:46.9%(平均値比 130.1%=46.9%÷36.1%) 展示室A:50.9%(平均値比 130.7%=50.9%÷39.0%) 展示室B:57.1%(平均値比 132.5%=57.1%÷43.1%) 大会議室:52.2%(平均値比 207.2%=52.2%÷25.2%) 練習室1:49.6%(平均値比 155.3%=49.6%÷31.9%) 練習室2:33.6%(平均値比 124.4%=33.6%÷27.0%) 練習室3:45.1%(平均値比 134.5%=45.1%÷33.5%) 練習室4:22.4%(平均値比 173.7%=22.4%÷12.9%) 和室:24.0%(平均値比 106.0%=24.0%÷22.6%)	5点		
				②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度1～3月実績)÷(R3年度1～3月実績) 大ホール:9,533人(平均値比 162.0%=9,533人÷5,884人) 小ホール:2,888人(平均値比 76.1%=2,888人÷3,795人) 展示室A:6,683人(平均値比 326.8%=6,683人÷2,045人) 展示室B:5,854人(平均値比 395.5%=5,854人÷1,480人) 大会議室:6,340人(平均値比 536.4%=6,340人÷1,182人) 練習室1:1,110人(平均値比 158.3%=1,110人÷701人) 練習室2:427人(平均値比 123.4%=427人÷346人) 練習室3:551人(平均値比 101.1%=551人÷545人) 練習室4:246人(平均値比 253.6%=246人÷97人) 和室:322人(平均値比 111.0%=322人÷290人)	5点	
						平均値比(140%)=利用率(42.4%)÷30.4%(上記②適用)					
				(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P9～11 ①市民文化祭 (1)邦楽の部2日間(来場193人・出演123人・出演団体20団体) (2)器楽・合唱の部2日間(来場468人・出演205人・出演団体22団体) (3)ダンスの部2日間(来場1,622人・出演669人・出演団体21団体) ②まるごと1日音楽の日inたじみ (1)大ホール・陶都楽友協会によるフレンドリーコンサート(来場300人・出演100人) (2)大ホールロビー:舞台初挑戦・弦楽塾ロビーコンサート(来場120人・出演30人) (3)大会議室:PUENTEキッズコンサート(来場99人) (4)展示室:世界の楽器博物館(来場120人)	仕様書以上 13点	①市民文化祭 大規模改修工事の中でも、市民の発表の機会を途切れることなく確保するため、アザレアホールへ場所を移して開催。邦楽の部、器楽・合唱の部は、出演団体が増加した。 【出演者数の推移】 邦楽の部:H30/417人 R元/376人 R2/58人 R3/109人 R4/123人 器楽・合唱の部:H30/432人 R元/403人 R2/131人 R3/80人 R4/205人 ダンスの部:H30/865人 R元/863人 R2/558人 R3/723人 R4/669人 ②まるごと1日音楽の日inたじみ 新しくなった各施設を知ってもらえるよう3月19日から25日までの一週間、市民と連携して様々な会場で文化事業を実施。それぞれの催しで若手演奏家が多数参加してイベントを盛り上げることができた。(来場者 1,156人)	13点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P12～17 ①芸術普及活動事業(9事業(中止1事業)・670人) ②文化活動支援事業(8事業・1,697人) ③生の舞台芸術鑑賞事業(4事業・2,733人)	期待以上 13点	①出張文化ホール(アウトリーチ事業)では、すべての実施校で事前に担当教員との意見交換の機会を設けた。それにより従来にない魅力的なプログラムが創出され、子どもたちの記憶に残る事業が実施された。 ②2台ピアノの饗宴や弦楽塾など、地域のアーティストと意見交換を行いながら進める事業を取り入れ、参加者の満足度も高かった。また改修工事中、井草聖ニギターコンサートや齊藤順子ソプラノコンサートなどは、文化会館の持つノウハウによりサポートしながら公民館職員とともに事業展開を行った。 ③リニューアルオープン記念事業として、著名な演奏家による公演を多数開催。いずれの公演でも若い人が気軽に参加することのできる料金体系が設けられ、多世代に喜んでもらえる機会がつけられた。	13点		
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P18 ①大規模改修工事のため、定期清掃、日常清掃は工事期間中は休止。 ②建物周辺清掃、樹木・植栽の剪定作業は工事期間中も継続実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点		
			②保守・点検			年次報告書P19 ①各保守点検業務は、大規模改修工事中は休止し、完了後に再開。(自家用電気工作物保守点検および冷暖房機簡易点検を除く) ②防火設備定期点検・報告は、「建築物等使用休止届」を県に提出することにより改修工事中は免除。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			③保安・警備			年次報告書P19 ①改修工事中警備員の配置は休止し巡回・施錠は職員が対応。保安上の目立った問題はなし。 ②機械警備は停電工事期間および設備更新工事期間は休止。人的警備(深夜・早朝巡回)により対応。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			④小規模修繕			年次報告書P20 ①有償修理 9件 総額557,150円 ②大規模改修工事実施のため、例年よりも件数、総額は減少。大規模改修工事に付随・補完する修繕および改修工事後の突発的な故障修繕を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P20 ①毎日、施設利用が始まる前に各部屋と屋外を巡回点検 ②市が作成した日常点検チェックシートに基づく点検を2週間に1回実施 ③過去の故障、トラブル等の発生箇所を示した「危険発生・要注意箇所マップ」「雨漏り・漏水マップ」等を作成し随時更新。危険箇所の「見える化」を図る。(大規模改修工事に対応して追記・修正予定)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。			

2	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P21 ①市ファイリングシステムに準じて、適正文書管理に努めている。 ②施設内にある図面(工事図面・完成図書等)、過去の修繕資料、申請書類等の分類リストを作成。(大規模改修工事に対応した図面リストを作成予定)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
		②環境への配慮			年次報告書P21 ①電力会社のホームページで電力の使用状況を監視。無駄な電気を使用せず、デマンドを抑制。 ②館内照明のLED化を積極的に推進。大規模改修工事により蛍光灯のLED改修率は88%に到達。今後バックヤードの未改修箇所のLED化を予定。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③バリアフリー			年次報告書P21 ①楽屋通路用の鉄製スロープ、舞台花道用とステージ階段用の手すりを製作。車椅子の方や高齢者が登壇の際に設置。 ②バリアフリー化に関する要望を大規模改修工事の設計に盛り込まれるよう提案、実現。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④備品管理			年次報告書P21 ①大規模改修工事前に備品の所在や保管場所をチェックし、品目別の備品リストを作成。 ②大規模改修後入れ替った備品のリストの再整備を実施済み。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護			年次報告書P21 ①個人情報を含む書類等は鍵のかかるキャビネットに保管。廃棄はシュレッダーで裁断か処分場へ持ち込み。 ②定期利用団体等への問い合わせは、代表者や本人に確認した上で対応。 ③チケット予約等で収集した個人情報は適切に管理。本人承諾の範囲内(イベント情報の送付等)に限る使用を徹底。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点 事故等対応に不備あり:△1点	年次報告書P22 ①来館者が駐車場と歩道を仕切るチェーンを跨ごうとして転倒・負傷する事故が1件発生。事故後再発防止のため、チェーンの高さ調整、反射材設置の対策を行った。 ②そのほか重大な事故は発生なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	負傷者発生に際し、適切に対処されている。	0点	
3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入111,125,072円÷支出102,910,724円＝108% ※上記収入のほか、多治見市より「新型コロナウイルス感染症対策指定管理者緊急支援金」として379,722円を別途交付。(収/支108%)	105%以上:5点	【参考】令和元年度98%、2年度100%、3年度100%(コロナ支援金込104%)	5点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P24 ①大規模改修工事の中で利用者の声に対応する改修提案を行った。 (主な事例:大会議室改修の事例) (1)室内にグランドピアノを設置。舞台脇に出演者控室兼音響操作室を設置。 (2)リハーサル利用に応えられるよう壁面に大型ミラーを設置、大小ホールの進行がリアルタイムでわかるようモニターを設置。 (3)講演会、研修会利用に応えられるよう電動スクリーンや舞台用スポットライト、Wi-Fi設備を設置。 (4)会議テーブル、椅子を全て更新。 ②少子化社会における地域課題に対して、地域の演奏家や指導者と連携して事業を企画実施し、課題解決に取り組んだ。	期待以上 8点	①利用者のニーズを把握し、ニーズに沿った大規模改修を行うことができた。 ②大規模改修に合わせて倉庫を整理し、椅子や机を会議室ごとではなく共用とすることで利便性と効率的な運用ができ、利用者のニーズに応えた。 ③地域の演奏家や指導者との連携した新規事業は、今後の発展を期待できる。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点 適正(普通):4点 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし。	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P25～26 ①大規模改修工事期間中に、リニューアル後の施設の活性化を目指す様々な情報を発信。 (1)大規模工事内容をSNS(Instagram)で紹介。 (2)附属設備のモデルプランをホームページで紹介すると共に、以前に利用されたことのある利用者には、新旧比較表を用意。 (3)先進事例視察、職員研修の実施。 ②繰り返し文化事業に参加してもらえるよう新サービスを企画・実施。 (1)新会員制度TaBunメンバーズを企画・実施。 (2)チケット販売のオンライン決済に利用できるクレジットカード会社を追加。 ③未来の利用者となる子どもや若い世代の文化芸術活動を支援(「U25」応援プロジェクトの創設) (1)25歳以下の料金体系を設け、若い世代の文化事業への来場を支援する。 (2)25歳以下限定事業や子ども対象事業を充実。	期待以上 13点	①大規模改修工事の内容に利用者からの意見が反映できるよう、毎週の改修工事会議に参加。工事の状況をSNSで市民に発信したことは、工事に対する市民の関心を集めた。 ②リニューアル後に向け、モデルプランの提案や、主な利用者ごとの新旧料金比較表を作成し、市民の活動再開がスムーズになるよう努めた。また新しくなった大会議室を活用したコンサートなどを積極的に企画実施した。 ③市民が繰り返し文化事業に参加できるよう新サービスを企画し、リピーターの拡大に努めた。 ④少子化社会に若い世代の文化事業への参加が進むよう、25歳以下の料金体系を設け、利用者の拡大につなげた。 ⑤子どもたちの文化活動の活性化を目指し、地域の演奏家や団体、利用者と連携して、学校へのアウトリーチや子どもを対象にした講座を積極的に企画実施。	13点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点
合計				85	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点
					全体的な評価 ①既存事業のレベルアップや新たな事業の企画、全国の事例を調べ利用者サービスの内容を変更するなど、大規模改修工事期間を活かしてソフト面の改善に積極的に取り組まれた。 ②ほとんどの期間が大規模改修工事であったが、学校と協力して行ったアウトリーチ事業で丁寧な意見交換を行い、成果をあげるなど閉館中にも文化・芸術活動の拡大に努めた。 ③新しい設備で、今後の利用者増加や事業内容の充実を期待する。			極めて良好	